

Press Information

2004年11月04日
No.04-05

曙ブレーキ工業(株)中国蘇州に現地法人（摩擦材工場）を設立

曙ブレーキ工業株式会社（代表取締役会長兼社長：信元 久隆 本店：東京都中央区 本社：埼玉県羽生市）は、11月3日に中国蘇州にて営業許可証を取得、コア製品であるディスクブレーキパッドの生産を行う現地法人「曙光制动器（苏州）有限公司[英語表記：Akebono Corporation (Suzhou)]」を設立しました。これにより、ドラムブレーキ・ディスクブレーキの生産拠点として、10月18日に設立した広州現地法人「广州曙光制动器有限公司[英語表記：Akebono Corporation (Guangzhou)]」とあわせ、アッセンブリー製品であるディスクブレーキから、その摩擦材となるディスクブレーキパッドまでを含めた供給が可能になり、両社は、akebonoグループの中長期的な目標である「Global 30^{*}」を推進する上でも重要な役割を担う拠点となります。

今回設立した「曙光制动器（苏州）有限公司」は、資本金：910万ドル、敷地面積：約50,000 m²、従業員数：約50名で、2005年11月からの生産開始を目指して準備を進めており、代表者である董事長は「广州曙光制动器有限公司」と同様に、石垣吉広（曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長）が就任する予定です。今後、現地日系メーカーだけでなく、欧米メーカーも視野に入れ、お客様の開拓を行ってまいります。

「广州曙光制动器有限公司」と「曙光制动器（苏州）有限公司」をあわせ、akebonoグループの中国事業は、2007年に約35億円の売上高を計画しており、両社とも同年に単年黒字化を予定しております。その為の、設備投資額は、2007年までに約2970万ドル（約32億円）となる見通しであり、今後も成長が見込まれる中国における事業基盤の早期確立を目指してまいります。

尚、今回の蘇州進出にあたっては、広州進出と同様に伊藤忠商事株式会社（代表取締役社長：小林 栄三 本社：東京都港区）の協力を得たものであり、今後、詳細は詰めていく段階ではありますが、モノづくりの面でakebonoの独自性を出しながら、行政対応、労務管理の面では伊藤忠商事のサポートを得て、お互いの得意分野で機能のすみわけを行っていく事を計画しております。

^{*}新車組付用ディスクブレーキパッドの世界シェア30%を目指すakebonoグループの中長期的な目標

<蘇州新会社の概要>

1. 会社名
曙光制动器(苏州)有限公司[英語表記: Akebono Corporation (Suzhou)]
2. 代表者(董事長)
石垣 吉広(曙ブレーキ工業(株)専務執行役員、中国事業準備室室長)
3. 設立
2004年11月3日
4. 進出地域・敷地面積
蘇州園區・約50,000 m²
5. 資本金
910万ドル
6. 従業員数
約50名(2005年度)
7. 出資先
曙ブレーキ工業(株)100%(伊藤忠商事が一部株式を譲り受ける形で資本参加する予定)
8. 事業内容
ディスクブレーキパッドの製造

<曙ブレーキ工業(株)概要>

1. 創業
1929年1月
2. 代表者
代表取締役会長兼社長 信元 久隆
3. 資本金
92億円(2004年3月末現在)
4. 連結売上高
1,414億円(2004年3月期)
5. 連結従業員数
4,600名(2004年3月末現在)
6. 事業内容
自動車・鉄道車両・産業機械用ブレーキの製造・販売